

岸和田市郷土文化室(自然資料館(自然史担当)・郷土史担当・文化財担当)

平成 19 年 6 月 15 日

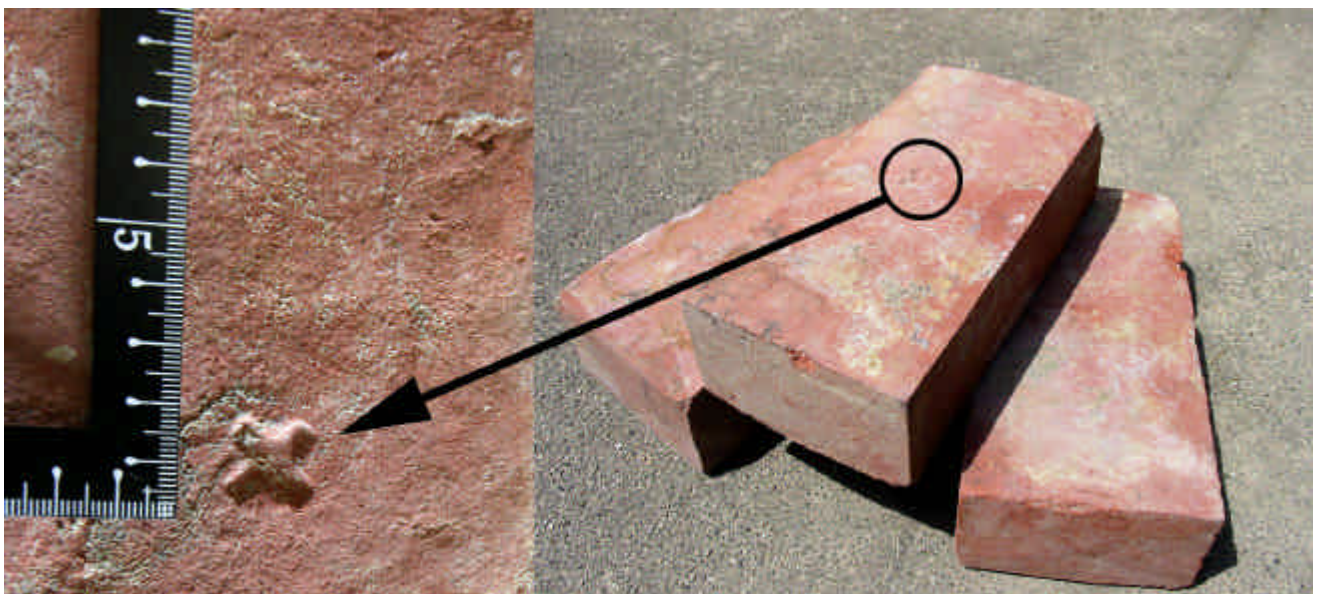
ガレキの類

山岡 邦章

皆さんはガレキと聞けば、何を想像されますか。漢字で書けば瓦礫ですから瓦や礫(石ころ)などの廃棄品、役に立たない物の代表格といった意味合いでしょうか。イメージとしては新しい時代のコンクリート破砕品や焼き物なども含まれるかも知れません。

下の写真は、岸和田城跡の発掘調査の際に、城の堀の中と考えられる地点から出土した古い煉瓦です。現在の地面の約1m下から見つかりました。これを見て、な～んだ、つまらない。これこそガレキの類だ!と思われる方がほとんどだと思います。でも、よく観察すると平たい面に×の刻印が入っています。これは並松町にあった岸和田煉瓦株式会社(岸煉)の社印なのです。岸和田煉瓦とは、明治時代に岸和田に開設された煉瓦会社で、煉瓦製造は綿布・繊維産業と並んで岸和田の基幹産業として発展した産業でした。

この刻印が入った煉瓦、意外と地元である岸和田市内には残っていないくて、岸和田煉瓦の工場跡地に煉瓦積み塀が残り、他には市内にいくつかの建造物があるのみです。煉瓦という物の性質上、新しくてありふれたもの、値打ちの無いガレキの類という固定観念があるのでしょうか、他にもあった煉瓦造りの建造物は壊され、岸煉製



出土した岸和田煉瓦の一部(右)と、岸和田煉瓦社章(セントアンドリュークロス)拡大(左)

煉瓦もいつしか忘れ去られつつあります。

しかし、岸煉製煉瓦は今でも日本各地に残っていて、有名な建造物では、同志社女子大学ジェームス館、旧山口県庁舎及び県会議事堂（現在の山口県政資料館：国重要文化財）、姫路の旧陸軍第10師団の兵器庫（現在の姫路市立美術館：国登録文化財）、琵琶湖疎水の改修工事箇所などで岸煉の刻印が確認されています。同志社大学ではさらに同大学の重要文化財建造物にも使われている可能性があります。この他にも同志社女子大学静和館（1991年解体）や、日本銀行大阪支店（部分残）、旧大阪市役所庁舎（1982年解体）、姫路電鉄、JR北陸本線など日本各地の工事現場や、枚方市の旧陸軍禁野火薬庫跡などの発掘調査現場で見つかっているようです。

皆さんも古い煉瓦を見つけたら、ガレキと決め付けずに刻印を探してみてください。あなたが手にとったそれは、ガレキではなく国の重要文化財に使われているものと同じ煉瓦かも知れません。

（やまおかくにあき：郷土文化室）

自然資料館長退任のご挨拶

千地 万造



この3月末をもって、きしわだ自然資料館を退職いたしました。顧みますと、当館は1992年から3年間の準備を経て、1995年6月に開館、以来約11年の間、「みんなで育て、みんなで楽しむミュージアム」をめざして、郷土の自然を中心に活動してきました。おかげさまで、小さいながらもユニークな博物館として各方面から少しは認められ、交流も活発になりました。これらの活動は、調査研究や資料の収集・整理に、観察会や学校への出前授業あるいは館主催のフォーラムや各種イベントに、主体的に参加・協力してくださった方々や友の会の皆様、いろいろな情報をいただいた方々のご支援なしではとてもできなかったものと心から御礼申し上げます。とは申せ、まだまだ荒削りで微力な博物館です。新館長の岡本素治氏は大阪市立自然史博物館の前学芸課長で植物学者です。34年に及ぶ学芸員としての豊かな経験と優れた学識をもとに、小さいながらもキラリと光り、市民に愛される珠玉のような博物館としてさらに磨きをかけ、育ててもらえるものと期待しています。何卒、より一層のご指導とご支援をお願い申し上げます。

（ちじまんぞう：自然資料館名誉館長）

自然資料館長着任のご挨拶

岡本 素治

4月に、きしわだ自然資料館館長に就任しました岡本です。自然資料館は、岸和田を中心とした大阪南部・泉州地域の自然を共に学び共に調べる施設となることを目指して、多くの人に助けられながら活動しています。千



地館長の築かれたこの路線を継承しつつ、多少なりとも新しい息吹が吹き込めたらと思っています。よろしくお引き立てくださいますようお願いいたします。

大学では植物分類学を専攻し、ドングリのなるコナラ属や和泉葛城山のブナ林でおなじみのブナ属などを含むブナ科植物の形態学的手法による分類を研究しました。1973年に前任地の大阪市立自然史博物館に就職してからは、いろんな分野の研究者と机を並べているという利点を活かし、少しでも市民の皆さんが親しみやすい分野を勉強したいということで、植物と動物の関わりの研究にも手を広げました。以来、花粉媒介をめぐる昆虫や鳥などの動物と植物との関わり、種子散布をめぐる鳥を中心とする動物と植物の関わり、など幅広いテーマに取り組んできました。目にする動植物はそれぞれ独自の面白さや謎を秘めています。植物との関わりを出発点としながらも、興味は自ずと対象生物自体の

謎解きにもおよび、謎が謎を呼び、興味は芽づる式に広がっていく。こうして博物館活動の中で、ナチュラルヒストリー（自然史科学）の醍醐味を堪能できたように思います。

しかし、考えてみますと、このように芽づる式に興味広がっていくのは、何もナチュラルヒストリーに限ったことではありません。あらゆる学問がそうですし、子供たちの学習の場においても、そうした自発的な興味の発展が理想であることは疑いのないところです。昨今はそのあり方に疑問をはさむ向きもありますが、文部科学省の主導で始まった総合的な学習の時間などは、まさにこの方向を突き詰めようとしたものと言えるでしょう。総合的な学習の時間にどれだけの時間を割り振るかは、他教科との兼ね合いで決まるべきものと思いますが、それがうまくいけば、子供たちの将来の大きな宝となり得るものだと思います。知ること、分かること、この体験、謎を見つけ謎を解く、謎がさらに謎を呼ぶ、このような体験は単なる憶えた知識には換えがたい財産となるものと思います。

学校現場では、総合的な学習の時間の運営に苦慮されている先生方もあると聞いております。そのようなとき、ナチュラルヒストリーで培った自然資料館学芸員の体験と知識がお役に立てるのではないかと考えております。自然の中には、不思議な謎がゴロゴロ転がっているのです。子供たちや先生方と一緒に、自然の謎の発見や謎解きに取り組むことができれば、大いに楽しく有意義なことではないかと、学芸員共々考えております。ぜひご相談下さい。

（おかももとはる：自然資料館館長）

Information

■ 岸和田城の展示案内 ■

企画展「岸和田の考古遺物」

岸和田市内には200箇所以上の遺跡が知られています。これまで本市において実施した発掘調査で出土した多数の考古遺物を展示し、郷土の歴史に親しんでいただきます。

- ・期間：2007年5月16日（水）～9月9日（日）
- ・会場：岸和田城天守閣2階展示室

- ・時間：午前10時～午後5時（入場は午後4時まで）
- ・入場料：大人300円 中学生以下無料
- ・休場日：月曜日（7月16日は開場します）
- ・主な展示資料：下池田遺跡出土遺物（弥生土器・石器・銅鏃等）、摩湯山古墳出土円筒埴輪、風吹山古墳出土遺物（銅鏡・ガラス玉・勾玉等）

■ 自然資料館からのお知らせ ■

企画展「スナメリたちのすむ海・大阪湾」

大阪湾には、さまざまなクジラやイルカのなかまがやっ
てきます。今回は、そのなかでも小さなイルカ「スナメリ」
について、紹介する展示を行います。

- ・ 期間：2007 年 6 月 2 日（土）～ 7 月 8 日（日）
- ・ 会場：自然資料館 1 F 多目的ホール
- ・ 時間：午前 10 時～午後 5 時（入場は午後 4 時まで）
- ・ 入場料：大人 200 円 中学生以下無料
- ・ 休館日：毎週月曜日および 6 月 30 日（土）
- ・ 主な展示内容：大阪湾で見つかったスナメリの子どもの



標本・スナメリの骨格標
本・大阪湾で見られたクジ
ラやイルカについてなど。
・ 主催：岸和田市教育委員
会・みさき公園水族館・大
阪湾スナメリネットワーク
・ 後援：海と船の博物館ネ
ットワーク協議会

講演会「スナメリと大阪湾」

開催中の企画展示にちなみ、大阪湾に生息するスナメリ
についての講演会を行います。

- ・ 日時：2007 年 6 月 24 日（日）午後 2 時～4 時
- ・ 講師：近藤茂則氏（大阪コミュニケーションアート専門
学校教務主任・学術博士）
- ・ 場所：岸和田市立公民館 3 階講座室 4
- ・ 定員：40 名（小学生以下は保護者同伴）
- ・ 申込：当日午後 1 時 30 分から先着順

昆虫採集と標本づくり

夏休みの直前の時期に身近な林へ行って、正しい昆虫の
採集と標本作製法を学びましょう。

- ・ 日時：2007 年 7 月 16 日（祝）午前 10 時～午後 4 時（雨
天中止）

- ・ 場所：岸和田市神於山周辺
- ・ 講師：中谷至伸氏（独立行政法人農業環境技術研究所研
究員）ほか
- ・ 対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）
- ・ 定員：40 名（保護者含む）
- ・ 費用：1 人 50 円（保険代）
- ・ 申込：6 月 15 日（金）～7 月 2 日（月）（必着）「夏の昆
虫」係

植物採集と標本づくり

- ・ 日時：2007 年 7 月 22 日（日）午前 10 時～午後 4 時（雨
天中止）
- ・ 場所：岸和田市神於山周辺
- ・ 講師：上久保文貴氏（きしわだ自然友の会副会長）ほか
- ・ 対象：植物に興味のある小中学生（小学生は保護者同伴）
- ・ 定員：50 名（保護者含む）
- ・ 費用：1 人 50 円（保険代）
- ・ 申込：7 月 1 日（日）～7 月 16 日（月）（必着）「夏の植
物」係

* 事前申し込みが必要な行事（昆虫採集と標本づくり・植
物採集と標本づくり）は、往復はがきまたは Email で、保
護者を含む参加者全員の郵便番号・住所・氏名・年齢・電
話番号を記入し、各係までお送りください。宛先は、下記
のきしわだ自然資料館まで。

自由研究相談会

恒例の自由研究相談会を行います。生きものの名まえや
調べ方など、わからないことを専門家に聞いてみましょう。
なお、物理・化学分野の相談はお受けできません。

- ・ 日時：2007 年 8 月 19 日（日）午後 1 時 30 分～4 時 30 分
- ・ 場所：自然資料館 1 階ホール
- ・ 対象：自由研究を行っている小学生以上の人
- ・ 分野：植物・昆虫・魚類・鳥類・貝類・両生類・は虫類・
化石・岩石・鉱物
- ・ 申込：当日午後 1 時 30 分より先着順

お願い [fromM]は、学校教職員に 1 部ずつお配りください。

担当の方はお忙しいところ申し訳ありませんが、よろしくお願い申し上げます。

【from M】では、みなさまからのご意見、ご感想、ご質問等を
お待ちしております。博物館での学習、研究等に関する情報、地域の自
然環境や歴史に関する面白いトピックスなどがありましたら、ぜひ
ご投稿ください。お名前、連絡先、所属等をご記入の上、右記の宛
先までお送りください。電子メールでも受け付けています。

連絡・問い合わせ先

〒596-0072 岸和田市堺町 6-5 きしわだ自然資料館
TEL: (072) 423- 8100 FAX: (072) 423- 8101
Email: sizen@city.kishiwada.osaka.jp
自然資料館ホームページ URL:
<http://www.city.kishiwada.osaka.jp/sosiki/k-nature/>
Yahoo Japan の検索で「きしわだ」と入力し、検索すれば、簡単
です）